

今後の方向性

基本目標 1 安心して子どもを生み、育てることができるまちづくり

課題

- 晩産化の進行によるリスクから母体や胎児を守り、安心して出産できる環境を充実していく必要がある。
- 核家族化の進行や地域関係の希薄化などによる子育ての孤立化の解消を図る必要がある。
- 妊娠や出産、乳幼児期におけるさまざまな相談に対応できる専門性の高い相談体制を構築する必要がある。
- 医療的なケアや療育が必要な子どもへの支援に対応していく必要がある。
- 母子の健康の保持や地域医療体制を確保していく必要がある。
- 安定した保育を提供するための担い手の確保と保育環境等の整備、多様化する保育ニーズに対応していく必要がある。

取組みの方向性

- 出産や育児の悩みや孤立感の軽減、妊娠期からの母子の健康保持、幼児期における充実した保育・幼児教育の提供などを通じて、妊産婦や子ども、その家族を支え、安心して子どもを生み、育てることができる環境の整備を図る。

1. 妊娠期からの途切れない支援

妊娠や出産、乳幼児期の子どもや子育てに対する悩みなどを軽減するため、妊娠期からの途切れない支援の充実を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 母子健康包括支援センター設置による途切れない支援の提供
- ・ 助産師による妊産婦相談の実施
- ・ 産後ケアなどによる母親の心身ケアや家事・育児支援の実施
- ・ 養育支援訪問事業による育児が不十分な家庭への訪問支援
- ・ 公認心理師の配置による子ども発達支援センター機能の強化
- ・ 基幹相談支援センターの設置による障がい児などを抱える家庭への支援の強化

参考資料 2

2. 保健・医療体制の充実

母子の健康保持と安心して医療を受けられる地域医療体制を確保するため、保健・医療体制の充実を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 子どもの予防接種の拡大
- ・ 専攻医等の受入れや診療所の整備による地域医療体制の確保

3. 保育環境等の充実

計画的な保育園舎等の整備や保育士の確保など、保育環境等の充実を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 荘川保育園の整備
- ・ 私立保育園の園舎整備等に対する助成
- ・ プロモーション活動や保育士の処遇改善などによる保育士の確保
- ・ ICTの活用などによる保育業務の効率化

4. 保育サービスの充実

安心して子育てができるよう、保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 休日保育サービスの支所地域への拡大

基本目標 2 子どもが豊かに学び、健やかに育つまちづくり

課題

- 子どもが安心して遊べる場所や子育て世代がつどい交流できる場所のほか、スポーツ施設など子どもの成長段階に応じた遊び場や居場所を充実していく必要がある。
- 学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの豊かな成長を支えていく仕組みを構築していく必要がある。
- 子どもの学びや育ちの連続性を保持するために、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校などの連携を強化していく必要がある。
- 地域で活躍する若者の支援や地元就労の促進を図る必要がある。

取組みの方向性

- 子どもの遊び場・居場所の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した持続可能な教育環境の充実と豊かな学びを支援し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を促す。

1. 遊び場・居場所の充実

親子のふれあいや子育て世帯の交流、地域とのつながりを深めることができるよう、子どもの成長段階に応じた遊び場・居場所の充実を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 児童館や放課後児童クラブなどの子どもの居場所の確保
- ・ 空き店舗等を活用した子どもの遊び場の整備
- ・ 町内会等が設置する児童遊園地の遊具整備に対する助成
- ・ スポーツ施設の整備

2. 教育環境の充実

学校・家庭・地域の協働により、子どもたちが様々な学習機会や交流、各種体験などを通じ、地域への誇りと愛着、社会を生き抜く力や基礎学力、体力、意欲的に学び行動する力などを養えるよう、教育環境の充実を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）による地域と協働した学校づくりの推進
- ・ 情報通信技術を活用した教育の推進（デジタル教科書の配置、電子黒板の配置拡大）
- ・ 職場体験学習や子ども夢創造事業などの実施による将来に夢や希望が持てる子どもの育成
- ・ 幼保小連携協議会や中学校・高校・特別支援学校の異校種間交流などによる連携の推進
- ・ 大学連携センターの活用など大学等との連携の推進
- ・ 若者等活動事務所の管理・運営による地域・社会で活躍できる若者の育成と地域の活性化

基本目標3 みんなで子育て世代を支え合う、愛情につつまれたまちづくり

課題

- 児童虐待の深刻化やいじめ・不登校の増加、LGBTに対する理解の普及、外国籍の児童生徒の増加などに伴い、子どもの権利を守る取組みをより一層進めていく必要がある。
- 発育が心配される子どもに対し、早い段階で支援していく必要がある。
- 障がいのある子どもなどが生まれ育った地域で教育が受けられるよう、個々の教育ニーズに応じた指導や支援ができる教育環境を整備していく必要がある。
- 子どもの貧困問題などの経済的負担や子どもの発達・障がいなどに伴う精神的負担などを軽減していく必要がある。
- 核家族化の進行による子育ての孤立を防ぐために、身近で気軽に相談できる場所の充実や地域の支え合いによる子育ての推進、家庭内における仕事と子育ての両立を進めていく必要がある。
- 子どもが巻き込まれる犯罪や交通事故などの増加、豪雨や台風などの自然災害の多発などに伴い、子どもや子育て家庭が安全に安心して生活できる環境づくりを推進していく必要がある。

取組みの方向性

- 子どもの権利を守るなかで、安心して子育てができるよう、地域や事業所、行政などが連携・協働して、子どもとその家庭を支え合う体制づくりをすすめる。

1. 子どもの権利の擁護

児童虐待やいじめの防止に向けた取組みの強化や多様な性への理解を深めるなど、子どもの権利の擁護を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 要保護児童対策地域協議会の機能強化やいじめ防止アドバイザーの派遣
- ・ 児童生徒等の重大事態調査委員会の設置・運営
- ・ 多様な性への理解に向けての啓発
- ・ 外国籍の子どもや保護者を支援する体制づくり

2. 子育ての不安や負担の軽減

子どもの成長段階に応じた不安や、子どもの発育や家庭環境に応じた心身の負担、子どもの貧困など、子育ての不安や負担の軽減を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 関係機関との連携や様々な支援の組合せなどによる包括的な子どもの貧困対策
- ・ 母子生活支援施設の整備に対する助成
- ・ ひとり親世帯への日常生活支援
- ・ 障がい児等の遠隔地への通院に対する宿泊費などの助成
- ・ 特別支援教育の推進

3. ワーク・ライフ・バランスの推進

多様化する就業形態や社会の変化を踏まえ、働きながら安心して子育てができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 事業所における働き方改革の推進

4. 地域社会で支え合う子育ての推進

子どもを見守る環境づくりや子育て世代を地域で支え合う子育ての推進を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ まちづくり協議会などにおける地域で子ども・親を支える取組みへの支援

5. 安全・安心・快適なまちづくりの推進

地域と連携した防犯対策や交通安全対策をはじめ、防災学習を推進するなど、子育て家庭が、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりの推進を図る。

(力を入れる取組み)

- ・ 地域における防犯・防災対策の推進